

ビジネスモデルと競争戦略

井上 達彦 教授

1. 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

競争戦略の一つの課題は、持続的な競争優位の確立です。このような競争優位を築き上げるためには、製品・サービスのレベルでの差別化だけでは不十分といえます。ライバル他社に簡単に模倣されないような価値供給の仕組みを築き上げなければなりません。このような仕組みは、価値連鎖とかビジネスシステム(ビジネス・モデル)といわれています。当研究指導では、ビジネスシステムに焦点を当てながら、競争戦略論全般について研究していきます。

2. 指導方針

ビジネスシステム論というのは学問横断的なコンセプトで、経営学における複数の学問領域(競争戦略論、経営組織論、マーケティング論など)にまたがっています。そこで、受講生には、まずベースとなる諸理論にまでさかのぼって探索的な文献研究をしていただきます。その上でリサーチクエスションを立て、実証研究を設計・実施します。実証の方法は、基本的には、ケーススタディかサーベイ調査です。

3. 学生に対する要望・その他

一つの研究を成し遂げるためには、さまざまなスキルが必要です。論理的な思考能力やヒューマンスキルはもちろん、ケーススタディを行う場合は、フィールドワーカーとしてのスキルや事例を書くためのスキルが必要とされます。また、サーベイを行う場合は、統計学の知識やSPSSなどの統計処理ソフトを使うスキルが求められます。これらのスキルの修得に励んでください。

同時に、粘り強い姿勢や熱意がなければよい研究者になることはできません。少なくとも、志望する教員を決めるにあたって、その教員の主要な著作物を読破するぐらいの熱意は必要です。